

時宗

左二寸五分

書月を踏む

依伏木菜索

山下三十一日

女性編輯部

到頭結婚す末長。さしして結婚神小甲要

つ長。彼等が正規に結婚して正規に結婚する

小一。一交通りやわつ長。二交目も不備長と従

所云云。彼等は三長に面倒な年数と履子

たははあう、長。

彼は三長に目の福書ささぬ女わしあか

事当に、おぬまわしつぬさう長。品

邪心何の象有しかつ長。二交目は義務で成す

この長。三交目に面倒と飾儀なくさす

と、もし、~~其~~名をわさぬ。二交目と表現す

日と正。いやはかつ長。彼は三長に目

つ長書さす女わしあか。私に長女自心

し長。結婚神、何の長に？さすかさん

身は知愛ありの長。いかに？結婚神、つ

中九はそんた長。あきか？長。事、疑問、起